

6月1日

初夏の大型街頭啓発



トウ建設工業社長)や地

地域挙げて安全運転訴え

白石厚別建協ら 白石区で街頭啓発

白石区交通安全運動推進委員会(会長・堀口洋一、白石区長)は1日、交通安全決起大会と大型街頭啓発を実施した。白石厚別建設協会(会長・武藤征一ム)は、元町の町内会、交通安全委員会などが加わり、通行量の多い南郷通と環状通の交差点でスピードダウンを呼び掛けた。交通事故が多発するこの時期に地域を挙げて毎年取り組んでいる活動。今回は約600人が街頭に立った。白石厚別建協からは会員28社36人が参加。「危険スピード落そう」「子供を守るチャイルドシート」など書かれた黄色い旗を掲げ、安全運転を訴えた。武藤会長は「冬に比べ、夏は事故率が約2倍になる。今後も啓発に力を入れたい」と話した。

「子供を守るチャイルドシート」など書かれた黄色い旗を掲げ、安全運転を訴えた。武藤会長は「冬に比べ、夏は事故率が約2倍になる。今後も啓発に力を入れたい」と話した。ドライパーに安全運転を呼び掛けた

